

①

2年組 番氏名

あなたが今、「永訣の朝」を読んで思ったこと、感じたことを、以下に自由に書いてください。

A large, empty rounded rectangular box with a thin black border, intended for the student to write their response to the reading prompt.

②A 2年組 番氏名

次に挙げた「群、□群の語群を比べ、「群、□群のそれぞれで「わたくし」や「いもうと」のどのような心情、どのような様子が表現されていると思いますか。グループで話し合い以下に記しまし
よう。

「群

- 「あめゆじゆ・あめゆき」 ○「青い蓴菜もやうのついたこれらふたつのかけた陶椀」
- 「さつぱりした雪のひとわん」
- 「銀河や太陽 気圏などとよばれたせかいの／そらからおちた雪のさい」のひとわんを」
- 「雪と水とのまつしろな「相系」○「すきとほるつめたい雪にみちた／このつややかな松のえだ」
- 「みなれたちやわんのこの藍のもやう」○「やさしくあをじろく燃えてゐる」
- 「この雪は…あんまりどこもまつしろなのだ」 ○「このうつくしい雪」

□群

- 「みぞれ」 ●「おもてはへんにあかるい」 ●「うすあかくいつそう陰惨な雪」
- 「みぞれはびちよびちよふつてくる」 ●「蒼鉛いろの暗い雪」
- 「みぞれはびちよびちよ沈んでくる」 ●「はげしいはげしい熱やあへぎ」
- 「みぞれはさびしくたまつてゐる」 ●「とざされた病院の／くらいびやうぶやかやのなか」
- 「あんなおそろしいみだれたそら」

記入欄

「群

□群

②B

2年組 番氏名

次に挙げた部分（作品のラスト）から、「わたくし」のどのような心情が読み取れますか、グループで話し合い以下に記しましょう（特に傍線部分に着目しましょう）。

◎「おまへがたべるこのふたわんのゆきに／わたくしはいま「ころからい」のる／どうかこれが兜率の天の食に変わって／やがてはおまへとみんなとに／聖い資糧をもたらすことを／わたくしのすべのさいはひをかけてねがふ」

記入欄

この文章の次のような表現上の特色から、「わたくし」や「いもうと」のどのような心情、どのような様子、が読み取れますか、グループで話し合い、以下に記しましょう。

◎「(あめゆじゆとてちてけんじや)」が何度も反復されていること。

◎方言を用いていること。

◎ひらがなを多く用いていることや、ひらがなと漢字の使い分け(「ゆき」・「雪」など)。

◎ローマ字による表現「(Ora Orade Shitori egumo)」

◎「……」による表現。

◎三文字下げのカッコ、一文字目からのカッコの使い分け。

◎その他効果的な比喩が用いられている部分や印象に残るに残る表現をしている箇所など。

③ 2年組 番 氏名

宮沢賢治作「永訣の朝」からどのようなことが読み取れますか。

②A, ②B, ②Cの3つの観点を合わせてグループで意見を出しましょう。

記入欄

④

2年組

番氏名

■各グループの発表を聞き、印象に残ったことなどを自由に記しましょう。

⑤

2年組 番号氏名

改めて、

あなたが今、「永訣の朝」を読んで思っていること、感じていること以下に自由に書いてください。

A large, empty rounded rectangular box with a thin black border, intended for the student to write their response to the reading of 'Eigo no Asa'.